

## 令和4年度 日本大学三島高等学校・中学校 自己評価票

### 【本校の目指す学校像】

日本大学の教育理念及び目的に基づき、豊かな自然環境と恵まれた教育環境の中で、自主創造の精神を養い心身ともに健康な人間を育成する。世界の進展に適応し、豊かな教養と確かな学力を磨き、世界の平和と人類の福祉に貢献する人材を育成する。

静岡県東部地区及び神奈川県西部地区のみならず、全国から信頼を寄せられる教育機関を目指す。

### 【本校の特長及び課題】

静岡県最大規模の高等学校であり、日本大学付属高校としての特長を生かしながら、生徒の能力、適性、進路等のニーズに応えるために、特別進学クラス、進学クラス、国際クラスに分け、きめ細かな教育を行っている。勉学と部活動の両立を掲げ、「自から学ぶ」、「自ら考える」、「自ら道をひらく」人間形成を目指し、将来、国際社会において活躍できる人材を育成する。進路実績において、学力全般の底上げを図り、日本大学へ優秀な人材の進学を目指す。

少子化が深刻化する状況において、更に広報活動を強化して入学定員の確保を目指す。

### 令和4年度の取組結果

#### 【概況】

今年度は新型コロナウイルス感染対策を十分に講じながら、できる限り通常に近い学校教育を実践した。高校の入学式は保護者の出席者は1名に限定し、従来どおりに広いアリーナで十分に間隔を取りながら実施した。中学入学式は参加人数が少ないため、保護者2名出席で簡略化して実施した。始業式や終業式及び学年集会等はグラウンドを使わず、多目的ホールでのテレビ中継とし、各教室での視聴とした。文化祭は昨年とは異なり、初日の土曜日は保護者のみの入場（チケット予約制）、日曜日は一般の方の入場（チケット予約制）を認めた。飲食場所は屋外に「イートスペース」を設け、密を避ける工夫を行った。体育祭は5月に3年生（午前）、10月には2年生（午前）、1年生（午後）を同日に行い、密を避ける工夫をして実施した。生徒たちは大いに盛り上がったようである。11月に実施した沖縄への修学旅行は2つの集団で新型コロナウイルスに複数の生徒が感染し、引率教員の対応がかなり大変であったが、各集団とも全体の動きには影響がなく無事に終了することができた。

7月中旬から8月中旬にかけての新型コロナウイルス感染第7波により本校生徒の陽性者が数名みられたが、1学期が終了していたこともあり、授業への影響はほとんどなかった。今年度は全ての授業を対面で実施できている。

今年度から新学習指導要領の改訂に伴い、総合進学コース・アカデミックコース・グローバル国際コース・アスリートコースのコース制を導入し、各コースの特性を生かした授業を展開している。

部活動については各部が十分な感染対策を行い、日常の活動を行っている。感染防止対策を講じながら各競技団体の公式大会が実施され、陸上競技部、水泳部、男子テニス部、卓球部が全国高校総体に出場した。野球部は夏の大会で県大会において優勝し、春夏連続甲子園出場を果たした。

令和4年度の本校入学者については定員680名に対して、584名となり、前年より4名減、定員に対して96名減少と2年連続で約100名減という状況である。さらに、先日行われた令和5年度入試では単願合格者が472名、内部進学者52名を加えて524名、これに併願入学者が約35名（予想）559名となり3年連続定員を100名下回る状況となる。この原因として考えられるのは、少子化に伴い公立高校からのいわゆる「併願落ち」の生徒が激減していることである。対策としては、進学校を志望しているレベルの生徒を本校に入学させることであり、そのためには特進クラスの国立大学や難関私大への進学実績を上げることであり、さらに、単願者を増やすには進学クラスの日本大学への進学率を80%以上に上げ、ほとんどの生徒が日本大学に進学できる学校に学力レベルを上げることであり、

今後は、進学校としての魅力を高め、新たにコース制となった本校の特色や魅力を更に積極的・効果的にPRし、地元で愛され信頼される学校を目指していかなければならない。

## 教育活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
「新学習指導要領」, 「高大接続改革」への対応	観点別評価については、混乱なく行えている。学力の三要素を念頭に置いたアクティブラーニングによる授業については、研究の余地がある。	B
学力向上	進学クラスの基礎学力到達度テスト平均 55, 特進クラスの大学入学共通テスト平均点 630 点は達成できなかった。	D

## 学校生活への配慮

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
いじめ防止のための取組	日本大学発行のいじめ防止パンフレット及び本校独自のいじめ防止マニュアルを念頭に置き、各HRを中心に学年団、学校組織として取り組むことができた。学期に1回、生徒対象のアンケート調査も実態を把握すべく詳細なもので実施した。アンケート集計後は、担任と学年主任を中心に学校組織として連携を取りながら対処した。臨時全校集会でいじめについてのディスカッションを行い改めていじめ根絶について共通理解ができた。	A
登下校時の安全確保	通学路において生徒と教員による交通安全指導(週番活動)を定期的実施し、事故防止に努めた。	B
多様化する生徒を適切に指導する工夫や組織体制	常に情報を共有し、早期発見・早期対応に努めた。また、各学年で定期的に頭髪・服装検査を実施し、学年全体で生徒の把握に努め、対応した。保護者の考え方も多様化しており、生徒以上に対応に苦労したケースもあった。協力体制をより高めて個人で抱えることが絶対にならないようにしたい。	A

## 課外活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
コロナ禍による新しい生活様式の中での学校行事	桜陵祭(文化祭)において、対面の中での非接触による対応をするために、完全キャッシュレス決済による金銭授受により、新しい生活様式の中での文化祭を実施した。	A
各種部活動による全国大会出場	野球部、陸上競技部、水泳部、柔道部、男子テニス部、卓球部、放送部、囲碁将棋部、応援団チアパートなどが、全国大会出場を果たした。	A

## 進路指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
日本大学への進学者数増加に向けた取組	6月実施の学部説明会や7月の学部相談会は予定どおり行うことができた。12月の学部相談会も予定どおり1,2年生が対象に実施することができ、とても盛況であった。3月実施予定の模擬授業は、対面で実施する予定だが、オンライン実施の準備もしている。 昨年度から、基礎学力選抜セレクション、付属特別選抜校内選考の順番に入れ替えた。現時点で日本大学の進学者(短大・専門含む)は61%となっており、目標の60%以上を達成できた。当然この成果は、3年部の各担任の指導が的確であったことも要因である。	A
特進クラスの在り方アカデミックコースの課題	生徒と保護者が安全志向に流れ、学校推薦型選抜(付属高等学校等)や年内入試の指定校などに流れる傾向は歯止めがかからない状態にある。結果として国公立	D

	大学や難関私立大学への受験者を増やすには至っていない。まず大学入学共通テストの平均点が 55%を切っており、目標の 65%にはほど遠い結果であることが反省点である。今後再来年度に完成するアカデミックコースの運営を考えて行く上で、学年を超えたコース内での連携、進路指導部との連携は大きな課題である。	
--	--	--

### 保健衛生

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
健康教育相談体制の充実	養護教諭・カウンセラー・担任・学年主任等の連携を強化し、生徒及び家庭との連携を図る。	A
健康診断の完全実施及び事後措置	「児童生徒の健康診断マニュアル」に基づき、項目・方法を適正に実施する。	A

### 図書

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
学校新聞の活用	時代の流れに合わせて、購読する新聞を変更する。	C
図書利用数の増加	高3卒業論文・高1総合的探究の授業での図書利用数の増加を図る。	A

### 広報

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
募集定員確保	確保することは叶わなかった。取組内容を再検討する。	D

### 管理運営

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
入学定員の確保（財政）	生徒募集に関しては、8月に本校での学校説明会を3日間実施し、ナイトセミナー&ウェビナーを6回、スクールツアーズ（学校見学会）を4回、オープンクラス（授業見学会）を2回、さらに中学校に出向いての説明会として45校を訪問し、これまで以上に精力的に広報活動を行った。特に日本大学の付属校としての特色を最大限にアピールした。しかしながら、令和5年度入試における単願者は僅か3名の増加、併願者は46名の減少と厳しい状況である。併願者の県立高校の入試は3月に実施されるので、入学者数は確定していないが、定員680名に対して580名程度の入学者数であると予測される。3年連続で、定員を約100名を割っている状況である。中学校では、従来のI期・II期入試に加えて、小田原市と静岡市において面接試験を行わない学力選抜型入試を実施し、志願者数は増加傾向にある。定員は70名であるが、学力の維持を見据えて合格者を抑え50名前後の予定である	D

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

### 新型コロナウイルス感染症に関する対応と今後の課題について

<p>①生徒の感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学時を含め常時マスク着用を義務付ける。</li> <li>・「感染予防対策・健康観察表」を担任に提出する。忘れた場合は校舎入り口の担当教員が検温し、別紙に記入する。</li> <li>・休み時間には必ず教室の換気を行う。</li> <li>・教室入り口に消毒液を常設している。昼食時は机の移動は禁止し、全員が正面向きで会話を控えて食べる。</li> </ul>
--

<p>②授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生の9月の基礎学力到達度テスト前1週間は感染対策のためオンライン授業とした以外は対面での授業を行った。</li> <li>・必要に応じて換気を行う。</li> <li>・机を移動して対面となるグループ学習は避ける。</li> </ul> <p>③学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会は各学年、半日で実施した。</li> <li>・始業式、終業式等の式典は多目的ホールで簡略化した式典をテレビ中継し、それを各教室にて視聴する形で実施した。</li> <li>・合唱コンクールの行事は中止とした。</li> </ul> <p>④部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始前に健康観察を行う。</li> </ul>
---

### 令和5年度取組目標及び方策

#### 教育活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
新学習指導要領を踏まえた上での授業・評価の改善	学力の三要素に即した授業スキルの習得に向け、各教科で研修を行う。	9月に研究授業を実施
生徒による授業評価アンケート結果に基づく授業改善	教科部会等を通して改善点を話し合う。	定期的に行う教科部会で議題にする。
「高大接続改革」への対応	「高大連携講座」の充実を図る。	4月に講座内容を国際関係学部と検討を図る。
学力向上	基礎学力テストの各教科平均偏差値を55（総合進学コース）、大学入学共通テスト平均点630点（アカデミックコース）を達成するための方策を実践していく。	基礎学力到達度テストに向けての、「特別講座」を7月末に実施、8月初旬は「特別自習室」を設けて質問等に対応し、9月には「直前講座」を行う。

#### 学校生活への配慮

取組目標	取組方策	取組スケジュール
いじめ防止のための取組	各HRでの指導を前提とし、新型コロナウイルスの影響で全生徒を集めての集会はまだ実施できないかもしれないが、放送による全校集会及び学年集会で共通理解を更に深める。いじめアンケートを学期に1回実施し、生徒の行動を理解し早期発見・早期対応を徹底する。	LHRで、日本大学発行のいじめ防止パンフレットを用い、いじめの定義について改めて指導する。 いじめアンケートを各学期に1回実施し、その集計されたものを学年で共有し、共通理解の下で生徒指導に当たる。
登下校時の安全確保	交通安全指導の講義を警察と連携して行う。 生徒と教員が交代制で行う週番活動として、定期的に通学路にて交通安全指導を継続実施する。 定期的には生徒・保護者に交通安全を促す連絡をクラッシーにて行う。	年間を通して毎日校外通学路・校門付近で週番活動を実施する。4月に交通安全教室の実施。 月に1回程度クラッシーにて現状の報告をする。

<p>多様化する生徒を適切に指導する工夫や組織体制</p>	<p>服装・頭髪指導を平素より行う。          他人と接するときの挨拶や姿勢，マナーについても改めて指導する。          ネットリテラシーを習得させる。          発達障害の生徒対応を充実させる。          保護者対応を必ずチームで相談しながら行う。          何より教員間の情報共有を大切にする。一人で抱え込まない。</p>	<p>各学期に1回以上は服装・頭髪検査を実施する。          各HRだけでなく，外部講師によるインターネット利用マナー講座等でも指導する。          保健室，相談室と連携しつつ，対応策・指導法を研究して生徒指導する。</p>
-------------------------------	---	--

### 課外活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
<p>コロナ禍による新しい生活様式の中での学校行事の展開</p>	<p>各種行事の精査により，合理化を図る。</p>	<p>桜陵祭（文化祭）6月中旬          Sports Day 5月下旬，10月中下旬</p>
<p>各種部活動による全国大会出場</p>	<p>令和4年度の全国大会出場数を超えるべく，強化指定部を筆頭に，部活動での活動環境の充実を目指す。</p>	<p>高校総体，各種選手権，高文連，各種大会等</p>

### 進路指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
<p>日本大学への進学人数増加に向けた取組</p>	<p>学部説明会・学部相談会・模擬授業の実施とオープンキャンパスへの参加を促す。新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでは保護者も参加していた説明会や，保護者への進路相談会などが開催できないことが多く，オンライン形式や動画等を利用して対応していきたい。          学校推薦型選抜（付属高等学校等）のシステムを，全教員が生徒と保護者がしっかりと理解できるように，情報の提供や勉強会などを実施する。</p>	<p>学部説明会（6月）          地区別教育相談会（保護者対象）への進路資料の提供（6月頃～）          学部個別相談会（7・12月）          模擬授業（3月）          各学部のオープンキャンパス          各学年での学年集会での入試説明</p>
<p>特進クラス・アカデミックコースの課題</p>	<p>特進クラスの指定校利用や日本大学の学校推薦型選抜（付属高等学校等）の利用の仕方を検討する。アカデミックコースは指定校への出願要件を難化させる方針とする。          国公立大学や難関私立大学への受験者を増やす。          アカデミックコースは学年別ではなく，コースとしての縦のつながりを重視し，進路指導部との連携も強化するべきだと感じる。そうでなければ，進路指導部が進学実績の向上に関与することはできない</p>	<p>大学入学共通テストの分析会や指導法の勉強会への参加や情報収集を行う。生徒には確実な学力の定着を促す。          アカデミックコースと連携し，高大連携としての大学の出前授業等を活用した先端教育講座を年複数回実施する。</p>

### 保健衛生

取組目標	取組方策	取組スケジュール
<p>健康診断の完全実施及び事後措置</p>	<p>「児童生徒の健康診断マニュアル」に基づき，項目・方法の完全実施と受診状況の確認をする。</p>	<p>健診依頼先と綿密な打合せを行い，要再検者の受診を積極的に促す。</p>

教育相談体制の充実	生徒及び保護者と担任・養護教諭・カウンセラー・学年の連携の強化を図る。	「教育相談部会」を各学期1度ずつ実施し、情報の共有化を図る。
-----------	-------------------------------------	--------------------------------

#### 図書

取組目標	取組方策	取組スケジュール
学校新聞の活用	配布する新聞を削減し、中・高校生新聞を購読予定としている。	4月より
図書利用数の増加	高3卒業論文・高1総合的探究の授業での図書利用数の増加を図る。	4月より継続して

#### 広報

取組目標	取組方策	取組スケジュール
募集定員の確保	本校の特長を発信する方法・機会を工夫する。	HP, SNSでの発信。説明会を充実させる。

#### 管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
入学生人数の定員確保（財政）	コース制を導入したことによる本校の新しい魅力・特性等を最大限にアピールし、広報活動更に充実させる。	中学校訪問，学校説明会，学校見学会，ナイトセミナー&ウェビナー等

#### 中長期的目標の取組結果

##### 進路指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
日本大学への進学者数増加に向けた取組	6月実施の学部説明会や7月の学部相談会は予定どおり行うことができた。12月の学部相談会も予定どおり1，2年生が対象で実施することができ、とても盛況であった。3月実施予定の模擬授業は、対面で実施する予定だが、オンライン実施の準備もしている。 昨年度から、基礎学力選抜セレクション、付属特別選抜校内選考の順番に入れ替えた。現時点で日本大学の進学者（短大・専門含む）は61%となっており、目標の60%以上を達成できた。当然この成果は、3年部の各担任の指導が的確であったことも要因である。	A

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

#### 中長期的目標及び方策

##### 管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
入学定員の確保（財政）	令和4年度より導入したコース制の新しい魅力・特性等を最大限にアピールする。	7月，9月，10月の各中学校における説明会，8月の本校での学校説明会，スクールツアーズ等を効果的に実施する。
入学定員数の見直し（管理運営）	全国的な少子化に伴い，特に静岡県東部地区の少子化	9月くらいまでには具体案を作

	<p>が激化し、3年連続定員の100名減の入学者数となった。広報活動に力を入れても680名を確保するには限界がきているため、適正な定員に向けて、教員数とのバランスを考慮しながら検討していく。</p>	<p>成したい。</p>
--	---	--------------